広報 社協さがみはら みんないいひと タウンニュース
発行 社会福祉法人
相模原市社会福祉協議会
中央区だより 第32号
〒252-0236 相模原市中央区富士見6丁目1番20号 市立あじさい会館内
☎042(730)3888 FAX042(759)4382
✉info@sagamiharashishakyo.or.jp HP http://www.sagamiharashishakyo.or.jp/

ファイナンシャルプランは『人生のデザイン』

～家計の悩み解決に向けた「家計相談支援」～

市社協の「生活困窮者応援事業」助成金を活用し、「誰にも相談できず、一人で悩んでいる方々の力になりたい。」と家計相談に取り組む市民活動団体「社会貢献さがみはらチーム」の活動を御紹介します。

家計見直しの心強いパートナー

「社会貢献さがみはらチーム」は、毎月一回、家計に問題を抱え、生活に困窮されている方々を対象に無料で家計相談会を開催しています。家計相談会では、家計管理や老後資金、資産運用等、生活設計の専門家「ファイナンシャルプランナー」が家計状況を「見える化」し、悩み解決に向け、心強いパートナーになっています。

長谷川良行代表

「相談して良かった」涙を流す人も

「最近では、70～80歳代の親御さんからの、障がいや引きこもりの子どもの将来についての御相談やひとり親世帯の方からの身の上相談も寄せられています。不安があるときは、一人で悩まず、気軽に御相談ください。」と、チームの代表 長谷川良行(はせがわよしゆき)さん。

相談された方からは、「漠然とした不安が解消された。」「自分の現状を整理できた。」などの感想が寄せられ、「聞いてもらえてよかった。」と涙を流す方もおられたそうです。

「ありがとう」その言葉が大きな励み

長谷川さんは、「心配そうな顔がうれしそうな顔に変わり、『ありがとう』の言葉をもらうことが、私たちの大きな励みです。相談された方々の人生が良い方向に進むよう、とことん努力していきます。」と、意気込みを熱く語ってくださいました。

対面の相談はもちろん、ZOOMによる遠隔相談にも対応しています。

社会参加の場づくりを応援

市社協では、フードバンクや就労支援、社会参加の場づくりなど生活に困窮されている方の自立促進に取り組む市民福祉活動団体を応援しています。

生活困窮者支援に取り組む団体、活動をしたいとお考えの方、市民活動係までお問合せください。
☎042(786)6181

やってみたいな！ 子どもの居場所づくりセミナー

日時 12月11日(金)午後2時～4時
場所 ソレイユさがみ
内容 講演「子どもの居場所とは？始めるためのあれこれ」
講師 無料学習支援塾おひさま代表　山角直史氏
事例報告 子ども食堂：ソレイユにこにこ食堂運営者
無料学習支援：こども広場ウェルカム運営者
対象 子どもの居場所を立ち上げたい方、活動に興味のある方
定員 75名(申し込み順)
申込 中央ボランティアセンター
☎ 042-786-6181　**FAX** 042-786-6182
Eメール svc@sagamiharashishakyo.or.jp

FAX・Eメールの場合は、①12/11セミナー受講希望②氏名③お住いの地区④電話番号を御記入の上お申し込みください。

市社協非常勤職員の募集

●ふれあいサービス相談員
内容 市民参加型有料家事援助サービス及び高齢者等給食サービスの相談対応、調整業務など。
勤務 月曜日～金曜日　午前9時～午後5時
給与 月額189,000円(社会保険加入)
資格 不問。福祉関連資格又は勤務経験があれば尚可。
詳細は、市社協ホームページ、又は下記までお問合せください。
問合 福祉推進課市民活動係
☎ 042-756-5098

福祉コミュニティ形成事業 ～「みんなで『気軽に』、『楽しく』!!」～

問福祉推進課地域支援係　☎042-704-6275

「地区社会福祉協議会」が中心となって、地域の福祉課題(困りごと)を発見・共有、解決に向けた仕組みづくりを検討し、実践する「福祉コミュニティ形成事業」。「交流の場づくり」、「見守り活動」、「困りごと相談窓口」など、地区ごとに取組は、様々です。今回は、活動を支える地域の皆さんの声を取りあげ、一緒に活動していただける方を大募集！

コロナ禍で現在活動をお休みしている地区もありますが、再開に向けて、「これならできる！みんなでできる！」是非一緒に活動しませんか。

★今号、次号(令和3年1月14日発行号)の2回に分けて、中央区内の9地区を紹介します。星が丘地区、光が丘地区、大野北地区、田名地区、上溝地区は、次号にて掲載いたします。

小山

おやま生活サポートセンター

活動を通じて“ほっとほっと”

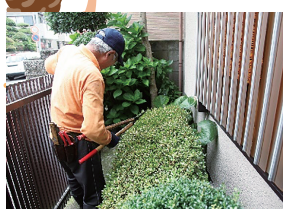
福祉コミュニティ形成事業に参加する内田美市男さんは、会社員というステージから次なるステージを地域社会の中で探し、現在も模索中です。その中で、自分の経験と知識が生かせるのでは・・と活動に参加しています。

活動を通して、地域のいろいろな方と出会い、知り合いになり、道端などで挨拶を交わすことが増えました。「挨拶を交わし合える」ことで、この地域と結ばれていると感じ、“ほっとほっと”しています。

おやま生活サポートセンター(中央区氷川町)
高齢者世帯等で支援が必要な方からのちょっとした困りごと(簡単な力仕事、通院の付添い等)のお手伝いをしています。窓口と専用の電話で相談を受けています。

清新

ちょこっとボランティアくらぶ



活動がこれからの生き甲斐に！！

ボランティアの石井三郎さんは、近所の80代のおばあちゃんに頼まれ、時々、電球の交換や電気器具の修理をしていました。その時のおばあちゃんの喜ぶ顔を見るのがとてもうれしかった経験から、地域情報紙の「ちょこっとボランティア」の募集を見て、「これだ！」と思い、これからの生き甲斐にと御夫妻で申し込みました。

「くらぶに登録して約3年。一人でも多くの人が笑顔でいられるように、またその笑顔をエネルギーに変えて、生き生きと活動をしていきたいと思います。」

ちょこっとボランティアくらぶ
高齢者や障がいのある方等からの「ちょっした困りごと」(電球の交換、草むしりなど)のお手伝いをしています。専用の電話で相談を受けています。

横山

コミュニティよこやま「憩」

参加者の笑顔が励みに！！

活動に参加する佐賀淳司さんは、民生委員・児童委員として地区社協の事業『コミュニティよこやま「憩」』の窓口ボランティアを経て、現在は、地区社協のコミュニティ部会長として、事業の企画・運営の中心的な役割を担っています。

佐賀さんは、「地域の方々と交流する機会がより一層増え、自然と見守りにもつながっています。そして何より、参加される方たちの喜んでいる姿を見られることが一番の励みになります。」と語ってくれました。

コミュニティよこやま「憩」(中央区横山台)
誰でも気軽に立ち寄れる、参加できる地域の拠点で、毎週月曜日と金曜日に開所しています。おしゃべり、お茶飲み、体操などを楽しんでいます。

中央

三世代交流「ふれあい相生」

活動を通じて知り合いが増えた

代表を務める小俣誠一さんは、自治会長になったことをきっかけに、三世代交流・ふれあい相生の運営に携わるようになりました。

小俣さんは「もともと社交的ではなく、人付き合いは、あまり得意な方ではありませんでしたが、活動を通じて知り合いが増え、地域の方々と話しがしやすくなりました。活動の範囲も広がり、だいぶ顔が売れたように思います。」と語ってくれました。

三世代交流事業
地区内5拠点(「ふれあいふじみ」、「ふれあいむらとみ」、「ふれあい相生」、「ふれあい相模原中央」、「ふれあいMYT」)でそれぞれ趣向を凝らした内容で開催しています。

社協は、皆さんからの寄付金・賛助会費・共同募金に支えられています。
紙面や記事についての御意見を大募集！本紙は、市社協・地区社協各窓口でも配布中

市社協ホームページ 相模原市社協 検索